

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

常時対応型施設に求められる外国人入院患者に対応するための機能と支援に関する研究

【研究責任者】

療養援助部 塚本哲司

【本研究の目的及び意義】

令和2年度に開催された厚生労働省「精神科救急医療体制整備に係るワーキンググループ」にて、精神科救急医療施設のうち常時対応型施設と病院群輪番型施設の機能分担が不明瞭である点が課題として挙げられています。

常時対応型施設に求められる機能として、外国人入院患者への対応と支援が挙げられることから、埼玉県立精神医療センターが受け入れた外国人入院患者に対する対応と支援について後方視的に分析し、常時対応型施設に求められる外国人入院患者に対応するための機能と支援を明らかにすることで、前述の課題に対する一つの機能項目として提示することを目的とする。

【本研究の実施方法及び期間】

令和2年度及び令和3年度に埼玉県立精神医療センターに非自発的入院し退院した外国人精神障害者のうち、本邦に家族が居住していない方について調査を行います。

利用する情報等

診療録（性別・年齢・国籍・言語・職業・生活形態・収入状況・精神科治療歴・入院形態・主診断・入院期間・入院期間が91日以上となった理由・転帰・対応するために必要であった機能・提供した支援・支援における制度的課題など）

*個人を特定できる情報は、削除して使用します。

研究期間

令和3年9月24日から令和4年月6月30日まで

○問い合わせ窓口

埼玉県立精神医療センター

療養援助部 小木曾佑介

E-mail : n231111a5@saitama-pho.jp

○苦情窓口

埼玉県立精神医療センター 倫理委員会事務局

E-mail : n2311111@saitama-pho.jp

令和3年9月